

## §4 サイトとレイアウト

### ●セッションの目標 (参加者はこのセッション終了時に次のことが達成できる。)

1. 地形、水利、植生、風等に留意して班サイトを定める。(3-1-①)
2. 班サイトを構成するテントや工作物を知り、机上でレイアウトしてみる。(3-1-②)

### ●指導上のねらい・ポイント

1. 安全・安心・快適なキャンプでなければ楽しむ(=スカウトに良い影響を与える)ことは難しい。それらを満たす要素について考え、要素についての良否の基準を理解してもらう。
2. キャンプ地の選定の要素を知り、そして理解させる。(安心・安全・快適・楽しい・魅力的)
3. 基本的な班サイトレイアウトについて考える。
  - ①班サイトを構成するテントや工作物等について、リストを作らせ、発表させる。(→ゲーム化)
  - ②サイトを定めるいろいろな要素を知ってもらい、実際に紙の上で配置させる。
  - ③必要なスペース、風向きへの対応、動線がうまくとれているか、それぞれの配置を考えさせる。
4. 安全・安心・快適なキャンプを送るための設備(テントや工作物)を知り、いろいろな要件によりレイアウト(配置)考えてみる。(要件:傾斜、風向き、日照、晴雨、人数、季節など)

### ●セッション展開にあたっての留意点

1. 文明生活に慣れ親しんだ我々にとって、いくら自然の中でのキャンプ生活が心身に良い・・・と解っていても、いきなり過酷な自然環境に置かれることは、逆に心身に多大なストレスと負担を与えてしまうことになる。「安全・安心・快適なキャンプ」ということは、すなわちストレスと負担が少ないキャンプということだ。このストレスと負担については、キャンプ経験や仲間存在によって大きく変化していく(→キャンプを楽しめるか!による)。
2. 「指導者のためのスカウトキャンプ」のP.14を参照するが、項目が古いものもあり、また、付け加える要素(風・暴風、獣害・虫害)もある。

### ●準備品・名称(規格)(数量)

- ・(各自) 参考書「指導者のためのスカウトキャンプ」
- ・ホワイトボード、マーカー(黒・赤・青)、磁石。または、プロジェクターとスクリーン、ポインター)
- ・「野営地の採点表(Step1用)」(人数分)
- ・模造紙(班の数) ・はさみ(各自持参) ・切り紙セット(班の数) ・緑色の紙(B4)

### ●他のスタッフへの依頼事項

#### 【他の講師に】

- ・資材の配付等をお手伝いください。

#### 【業務・奉仕スタッフに】

- ・なし

### ●セッション構成と展開(時間配分)

- 講義(10分) → 実習(25分) → 講義(10分) → まとめ(5分)

#### 《導入》(5分)

1. 「 」

#### 《展開》(40分)

##### 1. 地形、水利、植生、風等に留意して班サイトを定める。

- ①安全・安心・快適なキャンプでなければ楽しむ(=スカウトに良い影響を与える)ことは難しい。それらを満たす要素について考え、要素についての良否の基準を理解してもらう。
- ②キャンプ地の選定の要素を理解させる。(安心・安全・楽しい・魅力的)

※①と②は似た内容なので、2つ一緒に考える。

○スカウトから見た「安心・安全・快適」とはどんなものか、次視点から考えてみる。

- ・ヒト・・・ 信頼のおける指導者たち(野営技能、判断力、指導力、性格・・・など)

- モノ・・・十分に吟味された高性能で扱いやすいモノ、創意工夫ができる必要最小限のモノ。
- 場所・・・これについては、次の項で述べる。

- キャンプ地は、自然環境が良く、快適な生活ができ、安全面や健康面において心配がなく、多彩なプログラムが展開できる場所が望ましい。
- キャンプ地選定に際しての具体的な基準については「指導者のためのスカウトキャンプ」P.14に掲載されている。
- 同書 P.12には「キャンプ地の基本的条件」が掲載されているので確認しよう。

- (ア) 水利がよく、かつ水質が良いこと・・・今は沢や川の水は飲まない。上水道があるかどうか。
- (イ) 樹木があって、燃料が豊富なこと・・・新しい枝がたくさん落ちている場所は避ける。
- (ウ) 地形が緩やかで、排水がよいところ・・・その通り。
- (エ) 日当たりがよく、かつ強風が直接当たらないところ・・・その通り
- (オ) ゲームや作業をするのに適した広場やもできれば水浴場があること。
- (カ) 他人の出入りのはげしくない静かな場所であること。
- (キ) 食糧、なるべく新鮮なものが現地の近くで調達できること。
- (ク) 有害な昆虫・動植物がいないところ・・・漆、アブ、ブヨ、蚊など。
- (ケ) 交通、物資の輸送になるべく便利のよいところ

とある。それ以外のポイントを挙げると・・・

- (コ) 崖や土砂崩れ、落石、河川の増水による危険が予測される場所は避ける。
- (サ) 岩石の露出、土地の凸凹の多いところは危険に繋がるので避ける。
- (シ) 木陰のないところは避ける。
- (ス) 台風等緊急時に避難する場所があるところ。
- (セ) 外部との連絡が取れるところ（携帯電話の通話圏内）
- (ソ) 怪我や病気の発生に備えて、医療機関が近くにある、または救急車の手配ができるところ。

となる。

理想的なキャンプサイトは、森林帯の中のぽっかり空いた草地がいい。テントを張るところは水平の平坦地で、地面は土。そして贅沢をいえば、夏だったら風通しの悪くないところ、涼しくて蚊が寄ってこない。おまけとしては、朝日が拝めるところ・・・かな。まあ、これは人によって好みが違う。

で、結論としては「地形」「水利」「植生」「風」「日射と木陰」という自然条件に加えて、現代生活の条件が加味されていく。

「冒険」的要素は、この安心・安全・快適なキャンプができて初めて可能となる。

## 2. 班サイトを構成するテントや工作物を知り、机上でレイアウトしてみる。

ここでは、班サイトを構成するテントや工作物について知り、必要な順番（すなわち設営順）を考えて行く。

- ①リスト表に「班サイト」を構成する物をできるだけ書き出してもらう。（例えば4班だとしたら）自分の班だけリストアップしたら4点、2つの班だったら3点、3つの班なら2点、全部の班だったら1点・・・みたいなゲーム。  
→リスト表を配付（1枚／班）
- ②各班にテントやフライ・工作物が書かれた「ぬりえ」を渡し、ハサミで切り抜いてもらう。  
それを紙の上に配置して、いろいろな要素や条件を考えながら、それぞれを配置してみる。
- ③視点をいろいろ変えてみて、この後の「設営」に向けたレイアウトを完成させる。  
→最終案を、書き留めておくこと。

### 《まとめ》(5分)

1. サイトは、自然環境が良く、快適な生活ができ、安全面や健康面において心配がなく、多彩なプログラムが展開できる場所であることが望ましい。
2. レイアウトは、サイトの条件によって異なるが、事故に繋がらないよう動線と安全に配慮して配置する。

### ●備考

## 野営地の採点表

	0 最悪	2 悪	4 可	6 良	8 優	10 理想的	ここは？
位置	市街地	街はずれ	郊外住宅地	農地	原野・牧場	山林	
排水	湿地	溢水の可能性あり	排水緩慢	1方向に排水良	2方向に排水良	3方向に排水良	
土質	不潔な堆土	粘土質	岩石や砂礫	砂地	砂利層に砂	砂利層上にローム土	
地表	はだか地	雑草	刈り株	耕地	牧草・野草	芝生地	
地形1	急斜面	平地	10～12%傾斜地	5～8%傾斜地	ゆるやかな傾斜地	平坦に近い傾斜地	
地形2	川の中州 崖の下	ガレ場 谷間	河原	砂浜	風を遮るものがない広場	林間の広場	
樹木1	なし	低木・藪	若木・雑草	20～30年の造林地	古い造林地	原始林	
樹木2	樹液を出す木	密集した針葉樹	密集した広葉樹	程よい間の針葉樹	程よい間の広葉樹	高くて程よい間の広葉樹	
水利	なし	遠い	急坂運搬	良質な水道遠い	良質な水道近い	良質な水道至近	
水浴場	なし	安全な流れと速さの川	澄んで安全な湖沼	プール	シャワー	風呂・温泉	
燃料	なし	多少拾える	立ち枯れあり拾える	自由に拾える	近くで購入できる	その場で購入できる	
公衆	無理解	物見高い	行楽者多し	理解ある人あり	親切で理解あり	無人	
有害物	毒虫・毒蛇	蚊・ぶゆ	人を刺す虫	はえ有害植物	ほとんどなし	なし	
交通	遠く不便	便利だが遠い	不便だが近い	自動車がかるうじて入る	自動車が入り、あまり遠くない	自動車が安全に入り、近い	
買い出し	なし	遠く品数少ない	近く品数少ない	遠いがスーパー	近いスーパー	至近にスーパー	
病院	なし	休日休みの診療所	休日開業の診療所	個人医院 総合病院	救急受入の個人医院	救急受入の総合病院	
それ以外の条件							